

No.	調書番号	施設名	担当課	外部評価 (アドバイザー評価)		H24評価結果 [(二次評価)(施設所管部再評価)]		評価に対する対応状況	
				評価者	評価区分	見直し 必要性	説明	見直しの 方向	説明
1	33	介護実習普及センター	長寿社会課	A	要改善	有	介護需要の増加やニーズの変化に対応するため、カリキュラムや展示、相談、助言方法の見直しを行っていく。 また、今後指定管理の更新に際しては、認知症など喫緊の課題に対応するため市町村や民間では行えないような事業を検討していく。	実施方法等の変更	介護需要の増加やニーズの変化に対応するため、カリキュラムや展示、相談、助言方法の見直しを行っていく。 また、今後指定管理の更新に際しては、認知症など喫緊の課題に対応するため、認知症予防等の新たな講座や、より多くの県民が身近な地域で受講できる出張講座など市町村や民間では行えないような事業を検討していく。
				B	要改善				
				C	要改善				
2	34	森林公園金川の森	県有林課	A	現行どおり	無	ボランティアと連携した地域密着型の公園運営や、再整備への取り組みなどにより、県民等の”心身の健康増進”や”森林や自然環境保全意識の高揚”という当公園管理事業の目的達成に成果を上げていることから、現行どおり本事業を継続する。	現行どおり	
				B	現行どおり				
				C	現行どおり				
3	35	富士湧水の里水族館	花き農水産課	A	要改善	有	水族館が観光や教育など多方面から効率的に活用されるよう、県内外へのPR、魅力あるイベントの充実等に取り組む。また、入館者の増加と満足度の向上に努める。また、教材としての効果も大きいことから、小中学校等団体利用のさらなる増加を目指すとともに、リピーター獲得や冬季など閑散期の集客等についても検討していく。 故障中の施設・設備については、利用者の利便性を向上するために、そのあり方について検討していく。 また、来館の記念品の購入等を利用者が望んでいるため、物品の販売や飲食の提供ができるよう関係機関と協議していく。	実施方法等の変更	特別展や企画展、イベントなど年間の取組内容について、指定管理者としての自主性を尊重しつつ、入館者の増加、満足度の向上、教育機能の充実等が図られるよう指定管理者への指導を行っていく。また、現在、シアターなど不具合や故障のある施設・設備については、水族館としての機能維持、回復及び充実が図られるよう見直しを行ったのち予算要求を行い、平成25年度以降に計画的に修繕等を実施していく。 また、本施設は国補事業で整備したため、物品販売等に制限があるが、利用者の利便性や施設の維持管理コストの軽減等を踏まえて、物品販売等ができるよう関係機関と協議していく。
				B	要改善				
				C	要改善				